



会 長:寺下能明 幹 事:小林一三 会報委員長:寺下能明

事務局 E-Mail : rotary@wakayama-serc.org http://wakayama-serc.org/

例会日 水曜日 例会場:村アパローム紀の国 第 1, 第 2, 18:30~(夜) 第 3, 第 4, 第 5, 12:30~(昼)

4/19 (水) 例会ゲスト・ビジター報告

ゲスト:第 2640 地区 職業奉仕委員長 中西秀文様(海南東R.C.)

《 会長挨拶 》 寺下能明会長

本日も例会にご出席していただき、有り難うございます。
先日は和歌山アゼリアロータリークラブとの合同例会にご参加していただき、有り難うございました。

本年度事業のうち、会員全員が参加する行事は先日のアゼリアさんとの合同例会をもって終わりでございます。親睦委員長の松田委員長を初め親睦委員のみなさまに、いろいろお世話いただき、有り難うございました。

対外的には、あと一つ、東南ロータリークラブがホストとなります、市内 9 ロータリークラブ会員による親睦ゴルフ大会がございます。これもお世話くださいます、ゴルフ同好会の坂本委員長さん、ご参加いただける会員のみなさまに感謝申し上げます。

さて、本日は、先程ご紹介ありましたが、地区から、職業奉仕委員長の中西様においでいただいています。実は、中西様の卓話は、初め今年の 1 月 25 日に予定されていたものです。その当日はあいにくの大雪となり、急遽例会を中止致しました。唯一例会を中止した日でございます。中西様にもご迷惑をお掛けしました。今日は再度の登板と言うことでお越しいただきました。宜しく願い申し上げます。



《 幹事報告 》 小林一三幹事

① 姉妹クラブの熊本東南 R.C. 古庄浩二パスト会長(80 歳)が 4 月 9 日にご逝去されました。クラブより弔電、生花 1 基をお送りいたしました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

故 古庄様の奥様より葬儀御礼のメールを頂戴いたしました。

「このたびは 故・古庄浩二の葬儀に際しまして立派なご供花をいただき また弔電の数々 真にありがとうございました。亡くなる二日前には大好だったお酒を少しだけ嗜み 満足顔をしておりましたが、その後 眠るようになされました。

生前 皆様に賜りましたご厚誼に深く御礼申し上げます。お陰様で葬儀・初七日の法要も滞りなく執り行わせていただきました。本来ならば 直接お伺いしてご挨拶申し上げたいところではございますが、略式ながら 御礼のご挨拶とさせていただきます。

末文になりましたが、皆様のご健康と和歌山東南 RC 様の益々のご発展をお祈り申し上げます」



本日の出席報告					寄付金	ニコニコ	米山記念 奨学会	ロータリー 財団	東南 育英会
会員総数	36名		出席者	出席率					
出席免除会員	2名	4/19	20名	58.82%	累計	1,419,700	287,000	371,000	5,000

《 幹事報告 》 小林一三幹事

- ② 3件事務局に届いておりますので、各テーブルに一部置いています。ご一読頂き、御入用の方はお持ち帰り下さい。
- ・2022-2023年度 月信4月号
 - ・地区より「トルコ・シリア大地震」支援金を地区大会余剰金よりトルコ大使館、日本赤十字社和歌山県支部に150万円ずつ送金のお知らせ。
 - ・和歌山市内9R.C.インターシティミーティング(I.M.)お礼状 和歌山北R.C.(ホストクラブ)より
- ③ ロータリーレート 4月は1\$=133円です。
- ④ 3月の会長幹事会より提案がありました。済生会和歌山病院からの「電動ベッド導入プロジェクト」のクラウドファンディング(寄付)へのお願いについて。
詳細資料は例会場受付に置いています。詳しくは済生会和歌山病院HPをご覧ください。
- ⑤ RI会長杯ロータリーワールドゴルフ大会(仮想分散型式)開催中止のお知らせが届きました。(コロナ禍の行動制限が解除され、皆様の外へ向けての動きが活発になり登録者数が減少したため)

《 ニコニコ箱報告 》 平 平治会計

第2640地区職業奉仕委員長 中西秀文様：

卓話御礼は貴クラブ奉仕活動にお役立てください。

寺下君：中西様 ようこそおいいただきました。

中岡君：中西様 本日の卓話、よろしく願います。

IDM D班：残金です。

アゼリアR.C.との合同例会 お酒のオークション：

落札いただきました皆様 ありがとうございます。

本人お誕生日お祝い：寺下君、塩崎君、山口君、中谷君。

配偶者お誕生日お祝い：中曾君。



《 米山記念奨学会 》

小林君：2640地区職業奉仕委員会 委員長 中西秀文様、本日卓話よろしく願います。



♪ 4月 本人・配偶者お誕生日お祝い ♪

♪おめでとうございます。♪





「♪ソング斉唱♪」 君が代・われ等和歌山東南ロータリー・バースデイソング 山田会員

クラブフォーラム 職業奉仕委員会

卓話「職業奉仕について」 第2640地区職業奉仕委員長 中西秀文様



みなさんこんにちは。今年度地区職業奉仕委員長の中西です。
2640地区歴代の委員長は、直前委員長の角谷浩二様はじめ職業奉仕について造詣が深い方ばかりですので、それに比べると力不足ですが、今日はよろしくお願ひいたします。

私はロータリークラブに入会して、20年になりますが、最初に教えられた事は、ロータリークラブに入会したら、例会は休まないように、頼まれたら、NOとやらないように等指導を受けかなり厳しいところだなあというのが、第一印象でした。

ロータリークラブは色々な職種の人達の集まりだから、親しい友達もでき、人生勉強になり、楽しい居心地のいい場所ですよとも先輩方に教えて頂きました。今振り返ってみてもまさにその通りだったと思います。

入会当初からクラブの先輩方は、職業奉仕はロータリーの金看板であるとか、ロータリークラブの根幹は職業奉仕であるとおっしゃっていました。毎週毎週例会に出席して親しい友達もでき、会員卓話、外部卓話を聞き、委員会活動を通じてロータリーについて色々勉強する事ができました。私達は職業人の集まりですので、例会に出席してお互いの体験談、知識、知恵などを何回も何回も耳にする内に自然と職業論を学ぶことができたと思います。

日本のロータリーの創始者である米山梅吉氏の言葉に「ロータリーは単なる寄付団体でも慈善団体でもなく又、単なる奉仕団体でもない。ロータリークラブは奉仕を行う事すら必要ではない。奉仕はロータリアン個人が行うことであり、クラブはそんなロータリアンを育てる教育機関である。」と明確に示しておられます。「入りて学び、出でて奉仕せよ」とも言われています。まさに例会出席が自己研鑽の場であり、ロータリークラブの中で委員会活動を通じて、また、クラブ会長を含め、色々な経験をして、ロータリアンとしての資質や職業倫理が身についていくのではないのでしょうか。

職業とは「お金儲け」を言います。奉仕とは「世のため人のために尽くす」ことであります。ロータリー以外の奉仕団体は職業と奉仕とはそれぞれ別々の世界であり、決して一緒に考えることはできず、異次元の物と考えます。しかしロータリーは職業も奉仕も同次元であるという考え方です。

ロータリーは職業倫理の実践により、まず家庭や従業員を養い、その余ったお金の一部を奉仕に使い、その人の職業時間の余暇を使ってボランティア活動を行います。これは奉仕に使うお金や人間において職業倫理に基づくお金で人は奉仕活動ができるということを意味しています。つまり職業倫理の実践によって得たお金や人が基礎となり、その上に各種の奉仕活動が成り立っているのです。故に職業と奉仕は同次元のものと考えなければならないと思います。職業奉仕がわかりにくいと言われる所以は「職業は」自分のためのものという「内向きの方向」と「奉仕」は自分以外の人のためのものという「外向きの方向」の二つの相反するベクトルを持つ言葉を融合したものだからです。

次に改めてロータリーにおける例会は何かについてお話したいと思います。地区直前職業奉仕委員長の角谷浩二様のお話が大変わかりやすいので、少し引用させていただきます。

他団体の会員は「ロータリークラブは毎週毎週なぜ例会を開くのですか？私達は1か月に2回例会を開催するだけです。ロータリーは例会で食事をし、話を聞いて寄付します。ロータリークラブというの

は、金持ちの暇人の集まりですね」とよく言います。この言葉に対して我々は強く反論しなければなりません。ロータリーの例会は食事をするために出席するものではありません。卓話を聞くために出席し、卓話を聞いて職業倫理を学ぶのです。卓話を聞いては忘れ、聞いては忘れてしまうものですが、しかし何度も何度も聞き、そして忘れていくうちに、次第に自分自身が磨かれ職業倫理が身についていくのです。クリスチャンが毎週日曜日に教会に行って神に祈り心を洗うのと同じように。ロータリーは必ず毎週1回の例会に出席し、お互いの心を磨きあうのです。

まずロータリアン自身が自分の心を磨かなければロータリアン自身の倫理を高めなければ、世の中に倫理を提唱することはできません。したがってロータリーは、毎週例会があるのです。これが、社会奉仕だけを目的とする団体や単なる寄付団体や慈善団体ならば毎週例会を開く必要はないでしょう。極端なことを言えば、半年に1回総会を開けばよいのです。しかし、ロータリーは単なる寄付団体や慈善団体ではありません。ロータリアンの心の開発を第一義とする団体です。人作りなのです。社会奉仕だけを目的とする団体ではありません。ロータリーの職業奉仕の実践は、まず倫理を追求する例会に出席することから始まるのです。

私は、何回も何回も聞いている話ですが、例会に出席することの大切さが身に染みてわかる話だと思えます。例会は人生の学校と考えなければ、ならない。例会は、学びの場であり、修練の場であります。決してロータリーは有象無像の人間の集まりでは無ということだと思えます。

倫理とは「人が正しく歩む道」です。人を泣かせるような行為はしてはいけません。人を欺いてもいけない。非人道的非社会的行為をしてはいけません。世のため人のために尽くしなさいというのが倫理の教えです。ロータリーの職業奉仕を一言で表現するならば、「世のため人のために奉仕する心を持って職業を営むべし」と言えます。

「ロータリー運動」とは「倫理運動である」と言われます。ロータリーの本質は「人づくり」であり、相手に対して思いやり、やさしさを持った有能なロータリアンを育成し、それを持って職業奉仕をはじめ、各種の奉仕活動が成り立っていると思えます。

次に「社会奉仕」と「職業奉仕」の違いは何か

社会奉仕 (Community Service) は、自分以外の人々の為に奉仕するものであり、決してその奉仕によって自分が利益を求めてはならないという大原則がある。世のため人のために尽くす事であり、つまり社会奉仕における奉仕の受益者は他人で人道的 Service である。

職業奉仕 (Vocational Service) は、自分の職業を通じ職業社会に「サービス (奉仕)」することにより、その見返りとして利益を得るのである。

「He profits Most Who Serves Best」「最も奉仕する者 最も多く報いられる」「サービスに徹する者最大の利益あり」つまり職業奉仕における受益者は自多である」いわゆる商業的 Service である。

社会奉仕の受益者 ⇒ 他人 ⇒ 利他

職業奉仕の受益者 ⇒ 自分 ⇒ 利己

「社会奉仕と職業奉仕は一輪車」

世の為 人の為 (社会奉仕) の奉仕活動をする



反射的効果として「人」から「社会」から尊敬と信頼を得る



自分の職業が栄える



社会奉仕・職業奉仕は表裏一体 (一輪車)

利己と利他の調和

つまり、商品や技術を通じて商人と顧客がお互いに満足し、利益を得る状態を職業奉仕では・利己 (商人) と利他 (顧客) の調和と表現されます。

次に職業奉仕の実践において最も重要な倫理基準である四つのテスト

言行はこれに照らしてから → 自分の言動を考え、正しいかどうか

① 真実かどうか → 自分が商品にうそ偽りがどうかを判断する基準

② みんなに公平か → 全ての取引先に対して公正かどうか

③ 好意と友情深めるか → 商取引によって自らの信用を高め、取引先との人間関係を築き上げるかどうか

- ④ みんなのためになるかどうか → 全ての取引先に対して有益かどうか
日本 → 近江商人「三方よし」「売り手よし、買い手よし、世間よし」

それと「決議23-34」については今日は簡単な話になりましたが、より深く理解して頂いて、117年という長い歴史と伝統あるロータリークラブの重みを感じて今後のロータリー活動に精進してほしいと願っています。
ご静聴ありがとうございました。



2022-23年度 第5回
東南会ゴルフコンペ
2023年4月18日(火)
泉南カンツリークラブ

 優勝
吉田 遼会員

2位 中曾真二郎会員
3位 坂本武司会員



「2022-23年度 国際ロータリー第2640地区 和歌山市内9クラブ
インターシティミーティング」 ホストクラブ 和歌山北 R.C.
2023年4月1日(土) 13:00~16:30、アハローム紀の国3階



「各クラブ発表」 和歌山東南 R.C. 寺下能明会長



2022～2023年度
国際ロータリー第2640地区市内9クラブI.M.
行動し、実践することにより、「ロータリーの輪」を広げよう

インターシティミーティング
～IMテーマ～
官民協調型の社会奉仕事業を考える

基調講演 和歌山市の観光について

これからの和歌山県にとって、経済波及効果の大きい観光は、力強い経済を取り戻すための極めて重要な成長分野です。急速に成長するアジアから世界の需要を取り込むことで、地域の活性化と雇用創出の場を創出することが出来ます。そのためには、国内及び世界中の人々が、和歌山県の魅力を発見することが大切です。『行合下船し』ということわざがあります。私たちは意外と身の回りの良さを忘れてしまいがちです。そこで今回は、和歌山市役所観光課から和歌山市の観光について講演を頂き、観光の観点から見た和歌山県の魅力と和歌山市を愛する姿を、まずは、身近な観光地、観光地を興味を持ってから始めます。そして、そこから和歌山県へと関心を広げていきます。その魅力を自分たちのホームページ等にリンクする。また、SNS等で情報を発信し、拡散させていきます。その情報の拡散が、今の和歌山県を有名にすることに繋がる事だと考えています。その様に官と民が連携したハードではなく、ソフト的な社会奉仕事業について考えてほしい。本テーマとなりました。

日時 2023年4月1日(土) 13時～16時30分(登録受付12時30分)
場所 アバローム紀の国3階
講師 和歌山市役所 産業交流局長 國部敬光 副講師 内畑圭司 氏

参加クラブ
和歌山R.C. 和歌山東R.C. 和歌山南R.C.
和歌山東南R.C. 和歌山西R.C. 和歌山中R.C.
和歌山城南R.C. 和歌山アゼリアR.C. 和歌山北R.C.

ホストクラブ 和歌山北ロータリークラブ

